

粹人 石屋の多趣味人生

その218

過去の思い出出パート2 その七 石屋紀次

ついに判決が出ました。前日から気になって落ち着きませんでした。勝つことはあまり期待していませんでしたが、自分なりにやり遂げたという達成感がありました。

判決は「勝訴」でした。なぜか胸が熱くなりました。最初に口論をした裁判長は公正な人だったんだとしみじみ思いました。

でもまだ安心はできません。上告という物が有ります。判決が出てから二週間は高裁へ上告ができます。その間じつと待っていないければいけません。ただ、勝算はありません。それは判決の時に支払金額が明示されたときはその判決を覆すのは難しいと、前に協会の弁護士に聞いていました。今回は明確な金額を当方に支払うようにと明記されていました。

じつと二週間待ち、上告が無かった事を確認してから、I弁護士に電話しました。裁判中いつも人を子バカにした態度を繰り返した弁護士です。実は相当頭に来ていたのですが、彼にも直接話したいと思っていました。一回電話しても、事務員さんが不在です。いつ帰ってくるんですか？解りませんと逃げられてしゃべることはできませんでした。

そうこうするうちに、お金が振り込まれてきて、今回の裁判は終わりました。勝つたと言う感慨よりも、やっと終わったの思いが強かったです。調停から始まり、約一年かかりました。その間の心労の方が大きかったと言うのが本音です。最後のけじめとしまして、宅建協会の弁護士さんへ報告に行きました。無駄だからやめておけと言われた弁護士さんです。結果を報告するとビックリされて、「石屋君過去に勝つた事が無い裁判をして、それもド素人の君が闘って勝つたのは、君がよほど優秀なのか、相手の弁護士がよほど馬鹿かのどっちかだね。」と言われました。勿論後者ですが、最初から人を舐めてかかってきたからだと思いました。

ついに判決が出ました。前日から気になって落ち着きませんでした。勝つことはあまり期待していませんでしたが、自分なりにやり遂げたという達成感がありました。

判決は「勝訴」でした。なぜか胸が熱くなりました。最初に口論をした裁判長は公正な人だったんだとしみじみ思いました。

でもまだ安心はできません。上告という物が有ります。判決が出てから二週間は高裁へ上告ができます。その間じつと待っていないければいけません。それは判決の時に支払金額が明示されたときはその判決を覆すのは難しいと、前に協会の弁護士に聞いていました。今回は明確な金額を当方に支払うようにと明記されていました。

じつと二週間待ち、上告が無かった事を確認してから、I弁護士に電話しました。裁判中いつも人を子バカにした態度を繰り返した弁護士です。実は相当頭に来ていたのですが、彼にも直接話したいと思っていました。一回電話しても、事務員さんが不在です。いつ帰ってくるんですか？解りませんと逃げられてしゃべることはできませんでした。

そうこうするうちに、お金が振り込まれ

現場報告

生駒の物件
外壁工事中



- ★鳴滝の物件 (リノベーション) 入居募集開始しました。もう少しで満室です。
- ★生駒の物件 (新築) 外壁完了しました。これから暖炉を仕込みます。
- ★大山崎の物件 (収益物件) 銀行融資を依頼しました。
- ★鳴滝の物件 売り土地販売中です。
- ★鞍馬口の物件 現在リフォーム中です。キッチン入りました。
- ★鞍馬口の物件2 販売開始致しました。
- ★岩倉の物件 地鎮祭を執り行いました。
- ★上賀茂の物件 ガレージハウス建設予定です。
- ★高槻の物件 鍵お預かりしました。
- ★一乗寺の物件 外構工事を完了しました。
- ★紫竹の物件 お風呂の増築工事提案中です。
- ★山科の物件 依頼を受けました
- ★北区の物件 2階の水廻り依頼を受けました。
- ★御香宮の物件 ショールームへ行って来ました。
- ★下京の物件 銀行へ融資の依頼を致しました。



αステーション
All Advice House
毎週木曜日 17時20分～
是非お聴きください♪

瓦版ができるまで②

ラベルマイティでざっと作成したものを試し刷りします。そして誤字脱字がないかチェックします。何度も読み返してはいるのですが、時折印刷が完了してから発見してしまうことがあります。先日は、高野の原稿に安田の名前を書いてしまったのを発見してしまいシヨックを受けましたが、どうすることもできないのでそのまま発行してしまいました。

チエックが終わると、瓦版用の黄色の紙に印刷します。裏面の広告は、予め五千枚単位で業者さんに印刷してもらっています。印刷したものから順番に折機にかけます。まずは二つ折りにします。二つ折りが全て終わると

それを更に三つ折りにします。設定してあるメモリにガイドを合わせるのですが、何かその都度微調整が必要で、微調整していても歪んでしまい、折り方が汚いものが届くこともあるかと思いますがお許し下さい。つづく

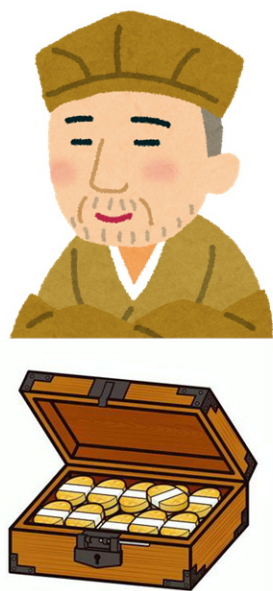


村田真由美

「松尾芭蕉II服部半蔵だった!説」

松尾芭蕉と服部半蔵は同一人物だったと言われる説は有名ですが、その理由を聞くと納得する内容です。徳川家康の忍者部隊を率いた服部半蔵ですが、家康が天下統一した後二つのお願いを申立てたそうです。一つ目は「自由にしてほしい」二つ目は「全国を旅させてほしい」だそうです。願いが叶った半蔵が使った仮名が松尾芭蕉だそうです。その松尾芭蕉の出身地が伊賀国であること。四十五歳から旅を始めて驚異の二千四百キロの移動距離。一介の旅人なのに全国の関所を通過できたということは徳川家に近い人物。などなどがあります。

一番興味深いのは童謡の「かごめかごめ」です。この唄を広めたのは松尾芭蕉だと言われているのですが、実は徳川埋蔵金のありかを示す唄だとも言われています。これもまた口マンがありますね。



実況パワフルプロ野球

実況パワフルプロ野球をやりました。打つ方はそこそこの慣れたのですが、投げる方と守備が下手です。

何を投げて打たれます。

1試合終わったときのスコアが勝っても負けても両チーム10点は超えます。

こちらが打つ時は強振で振るので、あまりヒットは続きませんがホームランは出ます。

1試合9本くらい打ちます。

投げる時にホームランはあまり打たれません。が、ヒットをたくさん打たれます。

1試合30本くらい打たれます。

外野フライがほしい取れません。

三遊間の打球はどっちがとりに行ったらよいかわかりません。

ライト線はスリーベースになります。昔と違って投げるときに2回押さなければいけないので、だいたい失投します。

高野圭亮

